

連絡先 

 メモ



発行者 東区障害者自立支援協議会



大地震に対しての 避難訓練ハンドブック

災害時、3日生き残る為の事前準備

実際に、避難所に行ってみよう！



避難訓練フローチャート

実施日 H . . H . . H . . H . . H . .

事業所内確認

- 出入口・避難通路・非常口の確認
- 大型機器類の確認（転倒防止の為、固定等）
- 防災用備品、非常持ち出し品の場所
- 火元の確認



非常持ち出し袋の準備…しっかりとしたリュック（背面パッドがある物や、肩ひもは幅広でやわらかい物等）が重い物を入れた時、楽です。

- 水
- ヘルメット
- 非常食
- 懐中電灯
- ラジオ
- 毛布
- 薬
- タオル
- 軍手
- コミュニケーションツール（紙、筆記用具、絵カードやホワイトボード、iPad等）

- ビニール袋
- 遊具（ペン、メモ、ゲーム、マンガ等）
- 身分証明書等
- カメラ（記録用）
- 地図（避難訓練用）
- 点呼表
- その他 {

（チェックを入れ、確認してください）



避難マップの作成…避難経路の確認（念のため複数）

- ・一時避難場所の設定…施設から出た際、集まる場所。ある程度の広さと安全性。
- ・避難経路は、安全、且つ、団体で行動できる広さの道が望ましい。

勤務している事業所（作業所）の広域避難所の場所は？

- ・ _____ 小学校
- ・ _____ 中学校
- ・ _____



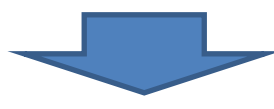
職員の役割分担の設定

- ・ 訓練実施責任者
- ・ タイムキーパー
- ・ 非常持ち出し袋を持つ者
- ・ 記録係（カメラ等）
- ・ 移動時の見守り配置人員（例：

進行方向



別途、個別対応が必要な利用者につき添う者等





避難訓練実施前に（必要に応じて）

- ・ 消防署に連絡する。
- 担当区域の消防署…「 _____ 消防署 TEL _____ - _____ 」



避難訓練、当日の流れ

避難訓練の実施

- 当日、避難訓練に参加する者、人数の事前確認
- 地震が発生したと想定しての行動（机の下の避難等）、その後、一時避難場所へ移動
- 点呼 
- 実際の避難経路を使い移動…災害時を想定（道路、建物の倒壊等）して移動する。
- 避難経路上の注意する点 …カメラ等で記録
 - 段差
 - 危険な物
 - 倒壊しそうな物
 - 確実な目印の確認
 - 交通量…自動車等の往来
 - 一時的に休憩できそうな場所
 - その他
- 避難経路上での社会資源は？
 - コンビニ
 - 交番
 - 消防署
 - 公園（一時的に休憩できそうな場所）
 - その他
- 再度、点呼 → 訓練実施責任者に報告 
- 再び、同じ経路を使って戻る。



避難訓練実施後の振り返り

- 避難に要した時間…（ _____ ）
- 避難経路は適していたか？
- 避難経路上の注意する点は？
- 避難経路上で社会資源は、あったのか？
- 利用者の状況は？
- その他、気付いた事は？ {

